

令和3年度学習指導方針（スクールポリシー）

石川県立宝達高等学校

【本校において目指す生徒像】

- （1）社会人としてのマナーやコミュニケーション能力を身に付けている生徒
- （2）基礎学力を身に付け、進路実現に向けて継続的に努力していくことができる生徒
- （3）自ら課題を設定し、その解決に向けて主体的に考え、取り組むことができる生徒

【学習指導方針（スクールポリシー）】

- （1）生徒が主体的に活動する場を設け、コミュニケーション能力の向上を図る。

I C T機器を活用して視覚的な効果を上げることにより興味、関心を高めるとともに生徒が主体的に活動する場面を設定し、学習の理解や定着を図る。また、アクティブ・ラーニング型の授業を通して自分の考えをまとめ、根拠を持って発表し、他人の意見を聞くという活動を取り入れることで思考力・判断力・表現力等を育成するとともにコミュニケーション能力の向上を図る。

- （2）学び直しも含めたきめ細かな指導計画を策定し、多様な進路指導に対応する。

学びなおしや基本事項の演習を繰り返すこと、家庭学習につながる授業展開にすることなどを通して、授業に対する積極的な姿勢を引き出し、わかる、できるという達成感や基礎学力の定着を図る。また、生徒一人一人に応じた学習支援や個別指導を充実させ、志の高い目標を持たせることで学習意欲を高め、学力向上と生徒の希望に応じた進路実現を目指す。

- （3）地域の一員としての自覚を高め、地域に貢献するために必要な資質・能力の向上を図る。

地域との連携を生かした指導計画を立て、さまざまな地域の教育資源を活用した学習活動を展開することによって、地域を見つめ気づいたことや考えたことを表現させ、地域社会の一員として、主体性を持って多様な人々と協働する態度を身に付けさせる。生徒が自ら課題を設定し、解決していく機会を設けることで、自己の長所をさらに伸張し、地域社会に貢献するために必要な資質・能力の向上を図る。